

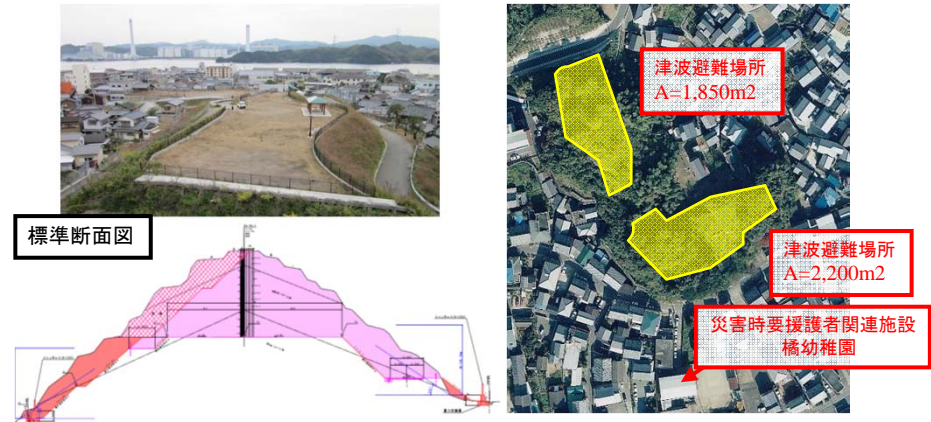
徳島県での防災・減災対策の主な取り組みについて

1 他施設を活用した津波一次避難場所の確保





徳島県、徳島市、西日本高速道路(株)とで、
高速道路で全国初となる津波避難場所に関する
基本協定を締結（平成23年8月11日）



阿南市橘町西浦地区において、「特定利用斜面保全事業」で
斜面上部に平地を整備し、約1,600人が収容可能な
「避難場所の確保」と「斜面对策」を併せて実施

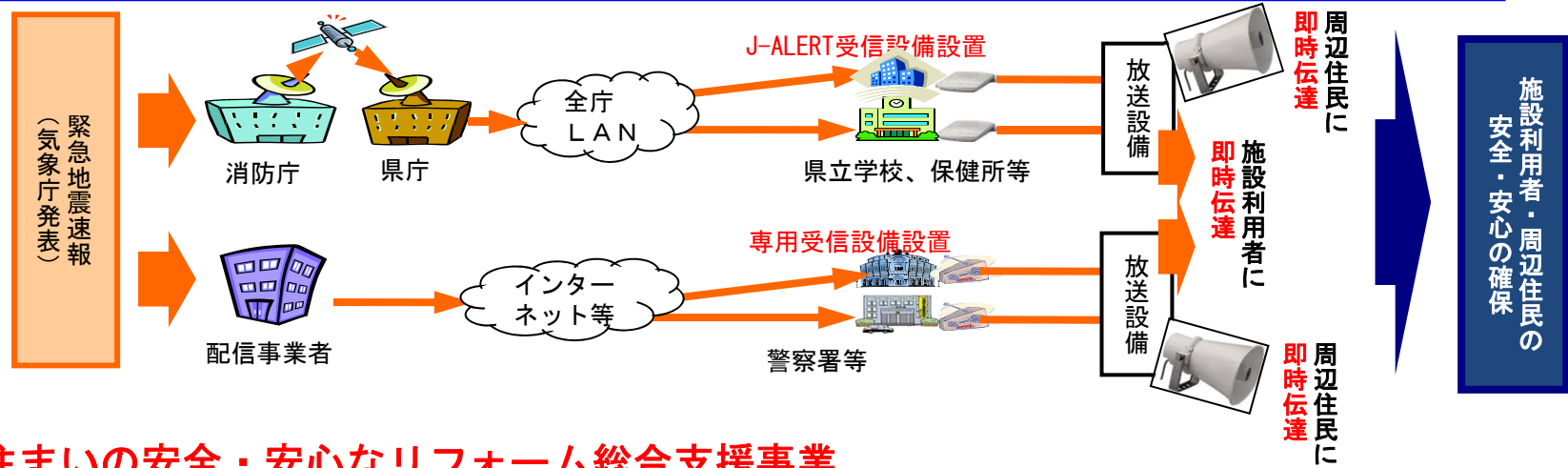


2 県立学校避難所施設強化・充実事業

<p>○ 生活水の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 雨水タンク（ろ過装置付き） ● 防災井戸 	<p>○ 非常用電源の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電装置・災害時の非常用電源として確保 	<p>○ 非常用の通信手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 衛星携帯電話 ・大震災時には携帯電話は接続不能に 	<p>○ 災害時用物資、資機材等の備蓄</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 物資、資機材の備蓄等 ▪ 学校や地域での意見を聞いた上で有効なものを配備 
<p>○ 生活污水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 既存合併浄化槽の活用 ・下水道整備地域における既存合併浄化槽の有効活用 	<p>中核的な避難所として 求められる機能を備える</p>		<p>支援が本格化するまで 自活できる避難所</p>

3 緊急地震速報受信設備設置促進事業

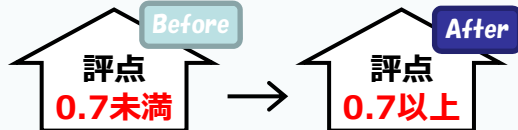
県立施設に「J-ALERT受信設備（全庁LAN利用）」・「専用の受信設備（インターネット利用）」を導入
 ■導入施設（約100箇所） ・災害時要援護者が利用する施設 ・多数の県民が利用する施設 等



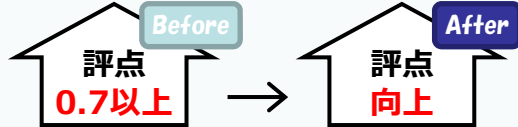
4 住まいの安全・安心なリフォーム総合支援事業

必須 簡易な耐震化

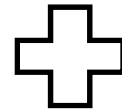
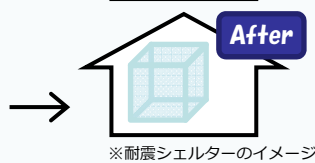
- ①は必ず、②～⑤のうち一つ以上を必ず実施
- ① 高さ1.5メートル以上の家具を固定
 - ② 評点0.7未満⇒評点0.7以上とする耐震補強工事
 - ③ 評点0.7以上⇒評点を向上させる耐震補強工事
 - ④ 耐震ベッド又は耐震シェルターを設置
 - ⑤ ②～④に相当する工事



- ③ 評点0.7以上⇒評点を向上させる耐震補強工事



- ④ 耐震ベッド又は耐震シェルターを設置



リフォーム

- ⑥ 省エネルギー化工事 太陽光発電など
- ⑦ バリアフリー化工事 手すり設置など
- ⑧ その他



県から
補助

補助率
1/2

最高
40万円